



## 株式会社あぐりん伊勢

法人名	株式会社 あぐりん伊勢
代表者名	代表取締役社長 坂口 正明
主な経営作物	青ねぎ、いちご、水稲
その他事業	農作業の受託
従業員数	12名（常雇用）
売上	109,664千円（令和5年3月末時点）

独立支援

就農バックアップ

JA子会社管轄

若手が活躍する  
現場

地域交流

農産物生産をしながら独立就農を目指す方のサポートも行っている、JA伊勢100%出資の子会社。

給料を貰いながらOJTで実際に栽培を経験しながら学ぶことができ、独立後のハウスのリースなどの仕組みもあるため、スムーズに独立が可能。

独立就農支援については露地栽培を希望する方には『青ねぎ』で、施設栽培を希望する方には『いちご』で研修を実施している。

## 当法人における人材育成目標

### 指導体系図



### 2年後の到達目標

- 産地を支える次世代の担い手育成

### 法人で求める基礎的な素質

#### 【求める人物像】

- PDCAサイクルを自分の判断で実現することができる人
- 失敗が起こる前に早めに察知できる、リスク回避能力がある人
- 何が無駄で何が必要か、費用対効果に敏感な人

#### 【この法人に向いていない人】

- 他の仕事がイヤで消去法で農業を選ぶ人
- 毎週決まった日に休みが欲しい人

### 経営者・経営陣としての考え

株式会社あぐりん伊勢は、JA伊勢管内の主要農産物である、青ねぎ、いちご、土地利用型作物として、水稲、小麦、キャベツ等を生産販売しているJA伊勢の子会社。

その一方で、減少を続ける農家数に歯止めをかけて次世代の生産者を育成するため、独立新規就農を目指す方を研修社員として雇用し、1~2年程度の研修期間を通して独立までのサポートを行っている。

これまでに青ねぎで8名、いちごで7名、合計15名の方があぐりん伊勢から独立し、地域の重要な担い手として活躍している。

あぐりん伊勢での研修期間内に、栽培技術の習得はもちろんのこと、認定取得に向けた青年等就農計画を行政と連携して作成したり、地域の生産者と顔を合わせる機会を作ったり、経営農地や農業倉庫、空きハウスの賃貸借の懸け橋になったりと、JAならではの地域性を生かしたサポートが可能。

もちろん、就農後についても、農産物の販売、資材の購入、また税務支援などをJAが全面的にバックアップし、生産者は農産物の生産だけに注力できる環境づくりを実施。

# インターンシッププログラム フロー

コース特徴	指導体制	継続雇用の有無
露地栽培は『青ねぎ』、施設栽培は『いちご』の2コースで研修を実施している。基本的には2年間を推奨しているが、本人の希望に合わせて期間は変更可能	各作物担当	有

## 目指す習得スキル

### 1年目

#### 【生産管理基礎】

基本的な栽培管理、病害虫に関する基本的な知識と技術の習得

### 2年目

#### 【生産管理応用】

前年に作業したことを踏まえ、より生産量をも高める技術の習得

#### 【経営管理】

『良いものを作る』栽培面だけでなく『利益を出せる』経営面も考えた作付計画や収支計画の作成スキルを習得

## 到達目標

産地を支える次世代の担い手育成

## モデル実施プログラム

### 農場でのOJT

- すべての工程を、実際に独立就農したときと同じように行えるので、一人で可能な経営面積や売上などを肌で感じながら学べる
- 学校ではなく実際に農業経営している法人なので、収支を合わせるにはどれぐらいのレベル(量・質)で行えば良いかを身に付けられる
- 大きな面積を相手にするので、通常なら年数がかかる多様な病害虫などの経営リスクを短期で経験できる

### 【就農準備】

- 資金面のサポート(補助金や融資の申請)
- 経営ほ場の確保(農地や中古ハウス、農業倉庫等の斡旋、リースハウス)
- 認定取得のための行政との連携

### その他

月1回のOFF-JT研修(農産物生産に必要な栽培知識の座学)

地域交流(先輩研修生との交流会や部会行事などに参加し、成功談や失敗談など農家の生の声を聞くことで、就農に当たっての心構えや予備知識が得られる)

# 法人における研修要素例

## 生産に関わる項目

項目	実施時期
植物生理の理解	1年次～（実践）
農業機械技術	1年次～（実践）
土作り	1年次～（実践）
病害虫対策理解	1年次～（実践）
担当作物の一連の作業管理	1年次～（実践）
収穫・出荷調整	1年次～（実践）
収量管理	1・2年次～（実践）
作付け・生産計画	2年次～

## OFF-JT項目

項目	実施時期
あぐりん伊勢概要	1年次4月
青ねぎの生理・生態と栽培の基礎	1年次5月
肥培管理	1年次6月
栽培方法	1年次7月
病害虫防除・農薬	1年次8月
農業機械	1年次9月
就農にあたって	1年次10月
納税と青色申告	1年次11月
決算書の作り方	1年次12月
農政や農業情勢について	1年次1月
販売動向、産地比較、部会取り組み事例	1年次2月
先進地事例	1年次3月

## その他備考

※地域交流などあり

# 研修目標到達の検証方法

個別面談を希望に応じて実施

## （補足）法人における年間・日々の営農スケジュールイメージ

### あぐりん伊勢 年間栽培スケジュール・イベント

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
青ねぎ	← 周年栽培のため、播種～収穫出荷調整を年間通じて作業（播種～収穫までのサイクルは4ヶ月～7ヶ月／収穫回数だと年間で300回程度） →											
いちご	11～5月収穫期		6～10月育苗、他作物応援（さつまいも・青ねぎ・稲刈等）						←			

### その他定期的な業務/不定期なスケジュール

定例業務等	不定期業務
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の小学生の体験受入等</li> </ul>